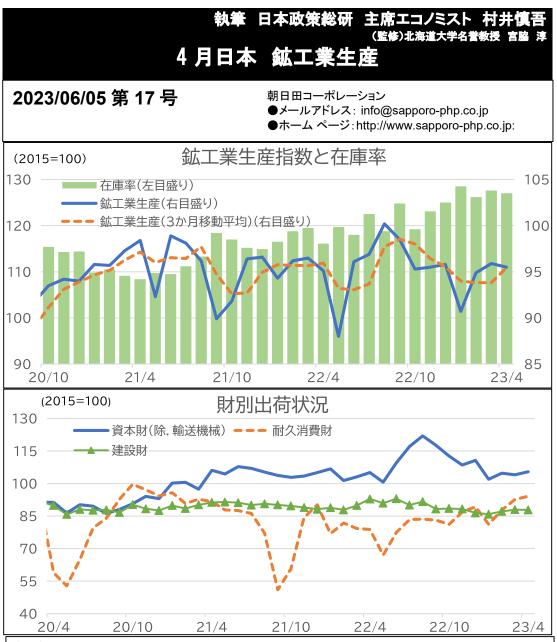
日本政策総研

Japan Policy Research Institute

日本・世界の経済



(資料)経済産業省資料より作成。

国内の生産活動は、冴えない状況が継続している。4月鉱工業生産では、生産指数が95.5ポイント(前月比一0.4%)と3か月ぶりに悪化するとともに、企業による事前の生産計画との乖離をあらわす予測実現率も▲4.2%となり、大幅に下振れた。5月、6月の生産活動については改善が予測されるも、欧米の景気不透明感が継続していることに加え、中国製造業の回復に腰折れがみられ始めており、当面の国内生産活動は停滞気味で推移する可能性が高い。